

新校長ご挨拶

校長

井浦 順二



東鷹同窓会の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に對しまして、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

私は、吉永校長の後任として、福岡市東区にあります香住丘高等学校より赴任いたしました。田川での勤務は二十数年ぶりとなり、不慣れですがよろしくお願ひいたします。

さて、平成六年に校名を田川東高等学校から東鷹高等学校に改称し、県下初の総合選択制カリキュ

ラムを導入してからは、はや十五年が経過しました。単独校として校名を変え、新天地に移転するといふ高校はそう多くはありません。長い歴史と伝統に輝く本校が、そうした大胆な改革に着手できたのも、同窓会の皆様方をはじめ、関係各位の全面的なご支援・ご協力をいただいたものと拝察いたします。

本校は定時制を併設するとともに、全日制は普通科総合コースと総合生活科に大きく分かれ、普通科総合コースは、文系・文理系・理系・看護系の四つの系に、総合生活科は食物系・被服系・保育福祉系の三つの系に分かれます（但し系の中身については現在見直し中）。各学年七クラスサイズ（経過措置により二年後は全学年六クラスで統一）の学校で、これほど多様な進路の選択肢を用意する学校は極めて少なく、本校生は、その分、自分のニーズにあったコー

スを選択することができるようになっていきます。そのため、四年制大学への進学から専門学校、公務員、就職に至るまで、生徒たちの進路は多様で、教科指導面だけでなく進路指導面においても教師側の力量が問われる学校でもありません。

国公立大学では、地元福岡県立大学や北九州市立大学、山口大学など、私立大学では福岡大学や西南学院大学、西日本工業大学等に進学、専門学校は看護系を中心に百名以上が進学しています。本年度からは、一年生に特進クラスを設置し、難関四年制大学への進学強化を図っています。

本校の教育目標は「地域に信頼される学校づくり」です。幸いなことに生徒達の挨拶や礼儀・服装指導等は、これまでの取組の中で、地域から一定の評価を戴いているところです。今後は、「学習指導の強化」を中心に据えながら、地

域と本校の関わりをさらに推進し、『東鷹高校なら子どもを安心して預けることができる。』との評価をいただけるように、職員一同力を合わせて尽力する所存です。今後とも、変わらぬご支援・ご協力を賜るようお願い申し上げます。最後となりますが、東鷹同窓会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。

平成20年度

管理職ご紹介

総括教頭 小田原 國 明

全日教頭 山下 進

定時教頭 柴田 康 弘

事務長 建部 啓 子